

武雄市統合型校務支援システム導入事業

別紙仕様書

令和3年6月

武雄市教育委員会

1 はじめに

武雄市立小学校、中学校に統合型校務支援システム導入の一環として実施する、ファイル交換・無害化環境構築の基本要件を以下に記載する。

2 基本要件

ファイル交換・無害化環境構築は、以下の要件を満たす導入及び構築すること。

項番	機能名	備考
1	インターフェース全般	操作画面・操作ボタン等のインターフェースが日本語/英語表示に対応していること。
		Webブラウザを介してファイルの送受信機能を利用出来ること。
		読み上げブラウザ（— JAWS 2018 日本語版 — NVDA 2019.2.jp — VoiceOver）による読み上げ、暗転、ズーム機能に対応していること。
2	認証機能	認証機能を有していること。
		ログインの認証において、Active Directory/Open Ldapと連携が可能であること。
		クライアント端末のネットワークアドレス毎に使用するセグメントを自動判定するなど、ユーザーがセグメントを意識することなく利用出来ること。
		ログイン画面に利用者へ向けたお知らせを表示することが出来ること、内容をシステム管理者が自由に設定出来ること。
		認証成功時に利用規約画面を表示することが出来ること、表示内容及び表示の有無はシステム管理者が自由に設定出来ること。
3	ファイル交換機能	セグメント間でファイル交換が行える仕組みであること。
		ウイルス対策ソフトによりアップロードされたファイルのウイルスチェックが可能であること。
		ファイル形式を認識し、拡張子が適合しているかを確認することが出来ること。
		ネットワーク間でのファイル交換/無害化を単一のアプリケーションで処理が可能であること。
		アップロードしたOfficeファイルは自動的にPDF化またはファイル無害化されること。
		ファイルを選択する際ドラッグ&ドロップに対応すること。
		ファイルダウンロードする際にパスワード付ZIPファイルに変換することが出来ること。

		容量不足時にファイルアップロードを制限する機能を有すること。
		ファイル転送の同時実行を制限する機能を有すること。
4	ファイル無害化機能	<p>以下のMicrosoft Office ファイル及びJUST Office ファイル (ver3及び4) よりマクロ、OLE、ActiveX、DDEを除去することが出来ること。</p> <p>また、挿入されている画像ファイル (jpg、jpeg、tif、tiff、png、gif、bmp) のメタ情報を除去して再挿入出来ること。</p> <p>「xls」 「xlsx」 「xlsm」 「ppt」 「pptx」 「pptm」 「doc」 「docx」 「docm」</p>
		<p>以下のパスワード付きファイルを展開して無害化することが出来ること。</p> <p>「xlsx」 「xlsm」 「docx」 「docm」 「pptx」 「pptm」</p>
		<p>以下の一太郎ファイルよりマクロを除去することが出来ること。</p> <p>「jtd」 「jtde」</p>
		<p>以下の花子ファイルよりマクロ、OLE、画像を除去することが出来ること。</p> <p>「jhd」</p>
		PDFファイルよりスクリプトを除去することが出来ること。
		パスワード付きのpdfファイルを展開して無害化することが出来ること。
		<p>以下のCADファイルよりマクロを除去することが出来ること。</p> <p>「dxf」 「dwg」</p>
		jww形式のファイルをバイナリレベルでファイルタイプの確認を行い、偽装の可能性がある場合は除去することが出来ること。
		SFC形式、P21形式のファイルをバイナリレベルでファイルタイプの確認を行い、偽装の可能性がある場合は除去することが出来ること。
		xdw形式、xbd形式、xct形式のファイルをバイナリレベルでファイルタイプの確認を行い、偽装の可能性がある場合は除去することが出来ること。
		dcm形式のファイルをバイナリレベルでファイルタイプの確認を行い、偽装の可能性がある場合は除去することが出来ること。

		<p>rtf (リッチテキスト) 形式のファイルよりOLE・ハイパーリンクを除去することが出来ること。</p> <p>以下の画像ファイルよりメタ情報を除去し再構成することが出来ること。 「jpg」「jpeg」「tif」「tiff」「png」「gif」「bmp」「wdp」「ico」</p> <p>以下の動画、音声ファイルよりメタ情報を除去し再構成することが出来ること。 「mp4」「wmv」「wma」</p> <p>csvファイルより外部関数を実行できない状態にすることが出来ること。</p> <p>以下の圧縮ファイルを展開し内部のファイルを再帰的に無害化出来ること。 「zip」「cab」「lzh」「7z」「rar」「tar」「bz2」「gz」「xz」 内部のファイルが無害化非対応のファイルの場合、同ファイルは削除され無害化可能なファイルのみ再構成すること。 また、削除されたファイルをユーザーが確認することが出来ること。</p> <p>パスワード付のzip、7z、rarを展開して無害化することが出来ること。</p> <p>ファイル無害化可能でないファイルの場合、その旨を画面上に通知する機能を有すること。</p>
5	上長承認機能	<p>上長承認機能を有していること。</p> <p>上長は複数名登録することが出来ること。</p> <p>上長として自分自身を登録出来ること。</p> <p>セグメント毎に上長はセグメントを指定して登録することが出来ること。 (転送元とは異なるセグメントでも承認ができること)</p> <p>アップロード登録の際にコメントを登録できる機能を有し、承認者へ通知出来ること。</p> <p>上長承認の依頼通知はEmailで自動的に送信されること。 EmailにはURLを記載し、クリックすることで承認画面に直接遷移出来ること。</p> <p>承認、非承認の通知を依頼者に対してEmailで自動的に送信されること。 EmailにはURLが記載されており、クリックすることでダウンロード画面に直接遷移出来ること。</p>
6	ユーザー管理機能	<p>ユーザーの一括登録機能を有していること。</p>

		<p>ファイル操作のログを取得出来ること。日時、ファイル名、ユーザー名、接続元IP情報等を取得出来ること。</p> <p>Active Directory/Open Ldapと連携を行い、ファイル送受信システムを利用する利用者情報を自動登録できる仕組みが実装されていること。</p> <p>Active Directoryと連携を利用する場合もActive Directory/Open Ldapと連携しないローカルユーザーを別途設定できること。</p> <p>ファイル送受信システムに登録できる利用者は職員数に関係なく登録可能であること。</p> <p>ユーザーの利用を停止する機能を有すること。</p>
7	セグメント管理機能	<p>異なるセグメント間でのファイルの受渡しにおいて、セグメントAからセグメントB、またはセグメントBからセグメントAへなど受け渡しを行う方向性によって拡張子制限、上司承認の有無、PDF化またはファイル無害化機能の有効、無効化の設定が柔軟に可能であること。</p> <p>セグメント毎に受け渡しのできるファイルの拡張子を制限出来ること。</p> <p>セグメント毎に無害化、PDF化、非無害化の有効/無効を設定することが出来ること。</p> <p>セグメント毎に上長承認の要/不要を設定することが出来ること。 また上長承認は非無害化の場合のみ実施する設定が出来ること。</p> <p>VDI環境下においてユーザーが識別しやすくする為、セグメント毎に背景色などを設定出来ること。</p>
8	その他管理機能	<p>操作ログを確認することが出来ること。</p> <p>ファイルの保存期間を設定出来ること。</p> <p>syslog転送する機能を有すること。</p> <p>システム名、ロゴの差し替えが出来ること。</p> <p>ログイン画面にお知らせを編集することが出来ること。</p> <p>利用規約を編集することが出来ること。</p> <p>上長承認通知メール、承認メールの文面を編集することが出来ること。</p> <p>システム設定のバックアップが出来ること。</p> <p>SNMP設定機能を有すること。</p>
9	構成	<p>システムに対しhttpからアクセスがあった際、https通信にリダイレクトする機能を有していること。</p>

10	その他	設定変更等が市管理者の自席PCから作業が行えること。
		職員数の増減によってライセンス費用が変化しないこと。
		タイムゾーン設定機能を有すること。
		令和4年4月1日以降の更新ライセンス・保守については、本市と協議の上決定するものとする。